

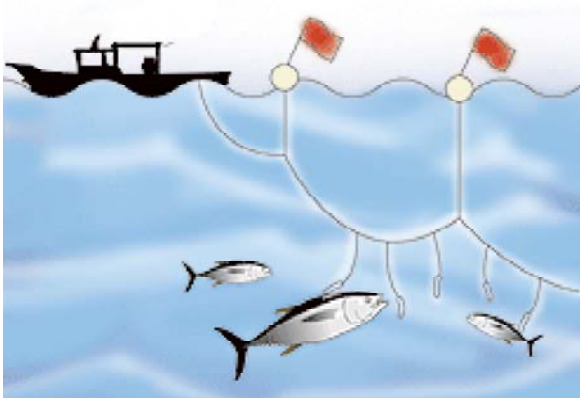
宮崎県の漁業者が行っている主な漁業法



かつお一本釣り漁業

竿による豪快な一本釣りでカツオを釣ります。カツオの群れを追って近海を操業し、群れを見つけると、活餌を撒き、擬餌針で釣ります。

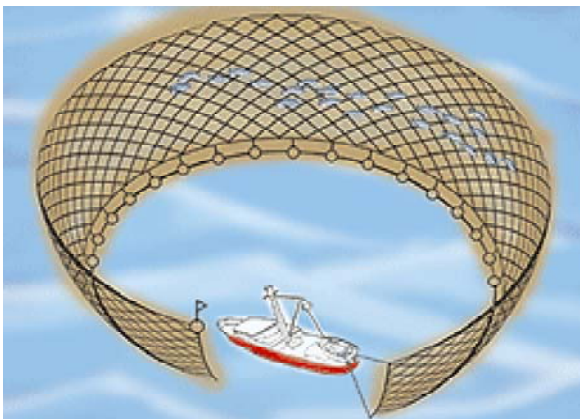
地域的には、主に日南市、南郷町の所属船により漁獲されます。



まぐろはえ縄漁業

県内で経営体が最も多い沿岸まぐろはえ縄漁業では、10 km～100 kmの幹縄に釣針の付いた枝縄を付け、アジなどの餌を付け、早朝の海中に設置し、一定時間経過後に引き上げて漁獲します。

地域的には、主に日向市、日南市、南郷町、川南町の所属船により漁獲されています。



まき網漁業

まき網漁業は4隻～5隻の船団で行う漁法です。(網船1、灯船2、運搬船1～2) 灯船が海中に水中集魚灯を下ろして集魚し、網船で漁獲します。主にアジ、イワシ、サバ類を漁獲します。

地域的には、主に延岡市の所属船により漁獲されています。

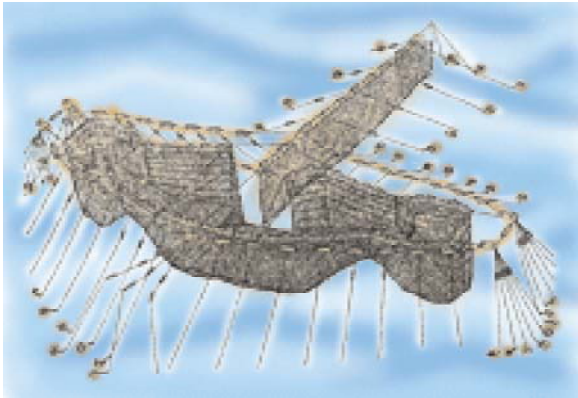


ひき縄漁業

ひき縄漁業は釣糸の先端部に疑似針を付け、水面の表層又は表層近くを船で曳きます。

主に沿岸で行われ、主な漁獲物はマグロ類、カツオ類、サワラ等です。

地域的には、県内全域で行われています。

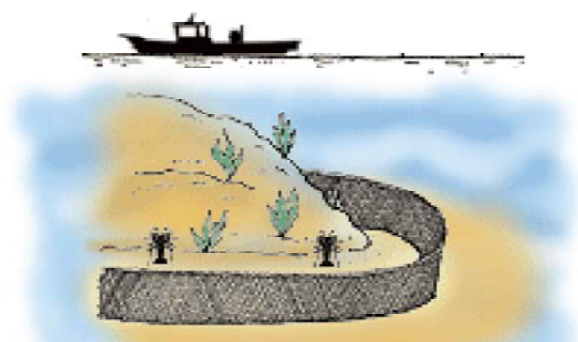


定置網漁業

漁具を固定して行う漁業で、主に回遊を行う魚類を対象にしています。

県内では、沿岸域に設置してあります。主な漁獲物はブリ、アジ、タチウオ、イカ等です。冬期は延岡市、串間市で大型のブリが漁獲されます。

地域的には、県北と県南の岩礁域の各地で行われています。

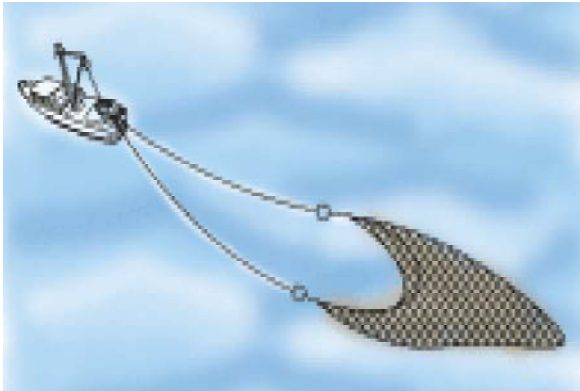


建網漁業

細い網糸の長い網を岩礁域に設置し、魚はその網目に絡まる形で漁獲されます。

主な漁獲物はイセエビ、ヒラメ、メジナ等です。

地域的には、県内全域で行われています。



小型底びき網漁業

船の後方で網を広げ、微速で走りながら海底に生息している魚介類を漁獲します。

主な漁獲物は、エビ類やカニ類、ハモ、ヒラメ等です。

地域的には、主に延岡市、川南町、都農町の所属船が行っています。



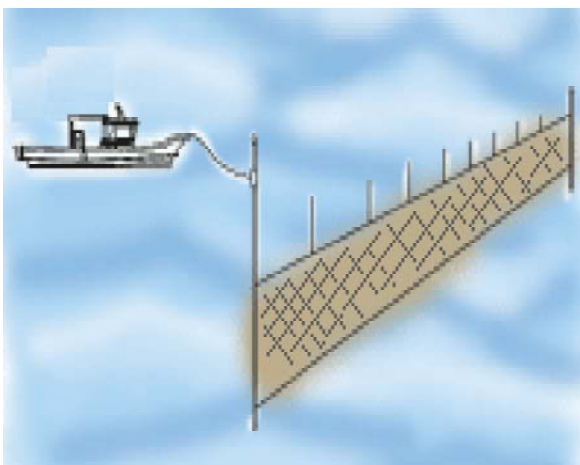
機船船曳網

3隻で操業し、2隻は、微速で走りながら網を曳きます。一隻は漁獲物の運搬を行います。

主な漁獲物はカタクチイワシの稚魚でシラス干しの原料となります。

地域的には、主に延岡市、日向市、宮崎市の所属船が行っております。

「ぱっち網」とも言われます。



刺し網

目的の漁種によって網目が異なりますが、魚が通過する場所を遮断するように設置します。

主な漁獲物は、サワラ、カマス、アジ等です。

地域的には、県内全域で行われています。

